

放課後等デイサービス自己評価表(公表)

事業所名	アンディとTiara
------	------------

(令和 6年 3月実施)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	手狭ではあるが、外活動に重点を置いて活動している。	より広いスペースを確保できる場所への移転を検討している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		利用者の特性に応じ人員を増やしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		バリアフリー化されていない部分にはスロープを設置して対応。	
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		スタッフミーティング、管理者会議等で実施。	
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートの集計結果をスタッフミーティングで検討し、支援の改善に努めている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価を行った実績はないが、今後は視野に入れて検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内部講習の他に外部講習を積極的に受講し、その伝達講習も行っている。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントやモニタリングの他に面談や連絡帳などで課題を拾い上げて分析しデイサービス計画に反映している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		今年度より、アセスメントツールに「五つの領域」の視点を反映させている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティングや日々の朝礼で活動が片寄らないように工夫している。	
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○		同上	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		ごみゼロ運動や公共交通機関を利用した外出や利用者の学力に応じたドリルを用意するなど様々な活動を取り入れている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		利用者の特性に応じた活動をサービス計画に取り入れている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日朝礼を行い、支援内容や役割分担を確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		送迎終了後打ち合わせをし、支援の振り返りを行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日誌の他に支援ノートを作成し支援の検証・改善のために活用している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に一度モニタリングを行い計画の見直しを判断している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校主催の連絡会や引き渡し時等を通じて情報を共有し、必要に応じてケース会議をおこなっている。	
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在医療ケアが必要な利用者は在籍していないが、受け入れる場合は十分な対応を心がける。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援専門員を通して行っている。	直接的な情報共有を望んでいるが実現していないため、その仕組み作りを模索していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	相談支援専門員を通して行っている。	各障害福祉サービス事業所間の連携が必要だと考えているが、これまで情報の提供を求められたことがない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		千葉県発達障害者支援センター等の研修は積極的に受講している。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○		児童館の利用や外活動で地域の子供たちと交流している。	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳やSNS、送迎の際の機会を利用して行っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングとしての支援は行っていないが、定期的な面談で相談に応じている。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明により行っている。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談の要望に対しては随時面談や訪問するなどして対応している。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情担当窓口を置き対応している。苦情担当窓口については、重要事項説明の際に周知している。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月開放を発行している。	
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		連絡帳を活用しているほか、メール等で情報を伝達している。	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		これまで行ったことはないが、アンディ祭に地域住民を招待するなど今後は視野に入れていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルをホームページに掲載し、毎月避難訓練を実施している。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	○		月に一度避難訓練を行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止の講習を受講し、その伝達講習を行っている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当する利用者は在籍していないため支援計画に記載した事例はないが、その必要が認められる場合は十分な対応を心がける。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示に基づいた保護者からの情報に従い対応している。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットをファイルし、事例のある都度スタッフミーティングや朝礼で検討している。	